

英国内務省

国別情報ノート
バングラデシュ：文書

第 1.0 版

2020 年 1 月

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

目次

要約	3
1.1 文書の種類.....	3
1.2 警察の記録.....	3
1.3 ロヒンギャ難民.....	4
1.4 偽造および腐敗.....	4
1.5 判例法	4
国別情報	5
2. 身分証明の種類と発行当局.....	5
2.1 国民識別カード（NIC）	5
2.2 パスポート.....	5
2.3 出生および死亡証明書.....	6
2.4 結婚および離婚証明書.....	7
3. 警察報告書	8
3.1 初期情報報告書（FIR）	8
4. ロヒンギャ難民に関する文書.....	9
5. 腐敗	9
5.1 概要	9
5.2 偽造文書の発生率と調達.....	10
5.3 偽造文書の種類.....	12
5.4 腐敗および偽造に対する対策.....	13
別紙 A	15

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

要約

更新：2020年1月14日

1.1 文書の種類

国民識別カード（NIC）は、バングラデシュ選挙管理委員会（BEC）への登録を済ませた18歳以上のバングラデシュ市民に発行される。NICを入手するには、申請者は選挙人名簿の連番、個人データ（両親の氏名、出生日および居住地住所）、親指指紋、写真および署名を提供する必要がある。カード保有者は、住居が変わっても、居住地住所を更新する必要はない。NICはラミネート加工を施した紙製カードである（「国民識別カード（NIC）」参照）。

1.1.2 2016年10月、BECは、マイクロチップにセキュリティ機能を搭載した、機械で読み取り可能な「スマート」NICの導入を発表した。新しいスマートカードの配布は進行中であり、本書発表時点では旧タイプのNICも流通している（「国民識別カード（NIC）」参照）。

1.1.3 バングラデシュ市民は、NICもしくは17桁の出生登録番号の記載のある出生証明書を持っていれば、パスポートを申請することができる。パスポートは機械で読み取り可能であり、申請者は申請を提出する前に指紋および写真をパスポート事務所に提供する必要がある。地域の警察官が申請者の身元を確認しなければならない（「パスポート」参照）。

1.1.4 その他の共通の書式による身分証明書としては、出生証明書、死亡証明書、結婚証明書および離婚証明書などがある（「出生および死亡証明書」ならびに「結婚および離婚証明書」参照）。

[目次へ戻る](#)

1.2 警察の記録

1.2.1 初期情報報告書（FIR）とは、警察に報告のあった犯罪の記録であり、「認知できる犯罪」（令状なしに警察が人を逮捕できる犯罪。殺人、窃盗、重大な傷害など。）に関して捜査もしくは逮捕を開始する根拠となるもので、下記の内容を含む。

- 警察署の名称
- 告発者の氏名および住所
- 被疑者の氏名および詳細（わかっている場合）
- 事件の日時および場所
- 発生した事件の真の事実
- 事件に関与した者の氏名および説明

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

- 目撃者
- 事件後の関連状況
- 犯罪をなすまでの関連、経緯または兆し
- 告発者の署名（または拇印）（「初期情報報告書（FIR）」参照）

[目次へ戻る](#)

1.3 ロヒンギャ難民

1.3.1 UNHCR が認証した、ロヒンギャ難民で 12 歳以上の者およそ 50 万人が、2019 年 8 月、生体認証の身分証明書を交付された。この証明書は、彼らのバングラデシュ滞在を管理するものであり、また、彼らの母国がミャンマーであることを表示している（「ロヒンギャ難民」および「国家政策および情報覚書 ビルマ [ミャンマー]：ロヒンギャ」参照）。

[目次へ戻る](#)

1.4 偽造および腐敗

1.4.1 生体認証機能により偽造の機会は限定されるが、文書偽造は広く行われており、パスポート（偽造が特に多い）、出生証明書、銀行明細書、課税文書、事業文書、学校文書および結婚証明書などが偽造されている。腐敗はこの地域特有であり、社会のあらゆる階層で発生する（「概要」、「偽造文書の発生率および調達」および「偽造文書の種類」参照）。

[目次へ戻る](#)

1.5 判例法

1.5.1 判例法によると、2001 年 12 月 20 日に聴聞の行われた A 対内務省長官（パキスタン）事件 [2002] UKIAT 00439（2002 年 2 月 19 日）で、移民不服申立審判所は次のように述べている。

1. 亡命および人権事件では、根拠にしようとする文書が信頼できるものであることを個別の申立人が示すこと。
2. 決定者は、あらゆる角度からすべての証拠を検討した後、文書が適切によりどころとなるものであるかどうかを考慮すべきである。
3. ごくまれに、文書が偽造であるとの申立てを行ったり、またはその根拠にできるだけ強力な証拠を用意したりする必要がある。その申立てはそのような証拠なしに行われるべきではない。蓋然性の均衡の下に民事での高い証明度に対する申立てを立証することができなかったからと言って、文書が信頼できるということではない。決定者はなおも、原則 1 および 2 を適用する必要がある（第 38 項）。

[目次へ戻る](#)

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

国別情報

第2章更新：2020年1月14日

2. 身分証明の種類と発行当局

2.1 国民識別カード (NIC)

2.1.1 バングラデシュ選挙管理委員会 (BEC) は、国民識別カードの発行と、全国市民識別データベースの維持を担当する政府の部局である。国民識別カード (NIC) は、BEC に登録すれば、18 歳以上のバングラデシュ市民に対して発行される。

2.1.2 オーストラリア政府外務貿易省 (DFAT) の 2019 年 8 月付けのバングラデシュに関する報告書では以下のように記載されている。

「NIC は 15 年有効であり、投票、銀行取引、パスポート取得、不動産もしくはその他の資産の購入など、広い範囲の手続きの完了に必要である。NIC を取得するには、申請者は選挙人名簿の連番、個人の詳細（両親の氏名、出生日および居住地住所）、親指指紋、写真および署名を提供する必要がある。BEC はこうした詳細を申請者の選挙人名簿の詳細と突き合わせてクロスチェックする。申請者は、運転免許および公共料金請求書など、一定の範囲の公的文書を使って居住を証明することができる。カード保有者は、居住地が変わった場合も、居住地住所の更新をする必要はない。」

2.1.3 表現の自由を推進するブロガーおよびオンライン活動家の世界的なネットワークである Advox は、2016 年 10 月、既存の紙製ラミネートカードに取って代わる「スマート」な国民識別カードの導入について報告した。Advox によれば、スマート NIC は 10 年間有効である。

2.1.4 DFAT によれば以下の通りである。

「スマート NIC は、マイクロチップに市民についての 32 種類の基本情報を埋め込んだ、機械で読み取り可能なカードである。このカードは、写真および電子チップなどの 25 のセキュリティ機能を搭載している。スマート NIC の目的は、以前はこの地域特有であった偽造を防止することである。BEC は現在、全国にスマート NIC を流通させるプロセスの途上である。このプロセスは今も続いており、セキュリティ機能のない旧タイプの国民識別カードが今も使われている。

[目次へ戻る](#)

2.2 パスポート

2.2.1 出入国管理・パスポート局 (DIP) は、機械読み取り可能なパスポート (MRP) の発行を担当している。パスポートの申請は、英国、ロンドンのバングラデシュ高等弁務官

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

事務所で行うことができる。パスポートは、レギュラー（または「普通」）、外交および公用の三種類ある。

2.2.2 ダッカトリビューン 2018 年 5 月 14 日付の記事によれば、DIP 関係者からの情報として、現在の規定では「氏名、年齢および両親の氏名などを含めた多数の情報の更新を、パスポートに対して行うことができない。ただし、名前の綴りの訂正は許可される。」としている。また、DIP は、「女性が結婚後に夫の名を採用した場合であっても、姓は変えられない」とも述べた。改宗に関しては、DIP によれば、申請者が情報の変更を申請するために宣誓供述書を作成する必要がある。

2.2.3 DFAT によれば以下の通りである。

「パスポートを申請する成人は、有効な NIC もしくは 17 桁の出生登録番号の記載のある出生登録証明書を保有していなければならない。申請者は、生体認証データ（指紋および写真）を、申請提出前にパスポート事務所に提供しなければならない。地域の警察官が個人の身元を確認する必要がある。申請者は、生年月日を直接、または BRIS [出生登録情報システム] システムを介して言明することにより、出生登録番号を取得することができる。

[目次へ戻る](#)

2.3 出生および死亡証明書

2.3.1 スウェーデン移民局の出生国情報センターである Lifos は、バングラデシュにおける偽造文書に関する 2019 年 2 月付け報告書の英語要約版を提供している。これは、多くの面において、ダッカにあるスウェーデン大使館の提供する情報に基づくものであった。この要約には以下のように記載されている。「現在、バングラデシュには機能している市民登録制度はなく、この国は包括的な全国市民登録システムを欠いている。出生、死亡および結婚は、地方自治体の別々の部署で登録される。」

2.3.2 2018 年を対象とする米国国務省年次人権報告書（USSD HR 報告書 2018）では、「両親がバングラデシュ市民の場合、両親の国籍は不明で子がバングラデシュ領内で出生した場合、または父もしくは祖父が現在バングラデシュ領の一部となっている地域で出生した場合に、個人は市民として生まれる。祖先を通じて市民権の資格を有する者の場合、父もしくは祖父が 1971 年以降にこうした領内に永住権を有している必要がある。」

2.3.3 DFAT によれば以下の通り。

「出生および死亡登録法（2004 年）」により、出生登録はバングラデシュで生まれたすべての新生児にとって義務となり、出生の登録はますます広がっている。両親は新生児を出生後 45 日以内に登録する必要がある、2 年以内に出生を登録しない場合、罰則が適用される。

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

バングラデシュ人は、学籍登録、パスポート、選挙人登録、政府もしくは非政府組織での雇用のために、また結婚の登録のために出生証明書が必要となる。

2.3.4 DFAT の理解によれば以下の通り。

「必ずしもすべてのサービス提供者が法の求める通りに機械的に出生証明書を要求するわけではない。2001 年以来、電子的出生登録情報システム（BRS）により、すべての出生が中央で記録されてきた。DFAT の理解では、人々は今もなんの証拠文書もなしに出生証明書を申請することができ（本来の出生証明書を紛失した場合、または今まで出生証明書を持ったことがなかった場合）、出生証明書に関しては文書偽造が高確率で発生している。」

2.3.5 米国国務省（USSD）のバングラデシュ互惠計画（更新後）では、バングラデシュの非居住者のための出生証明書および死亡証明書は、最寄りのバングラデシュ高等弁務官事務所、大使館または領事館で発行でき、バングラデシュ内の者の場合は、発行機関は大都市市役所、地方自治体/ポウラシャバ（一般都市）の役所、ユニオン議会事務所または軍隊野営局となる。

2.3.6 同じ資料によれば、2006 年 7 月以降に発行された出生証明書および死亡証明書には 17 桁の識別番号が記載されている。この日より前に発効されたものにはこのような番号の記載はないが、「関係する登録事務所に提出して 17 桁の識別番号付きでの再発行を求めなければならない」。

2.3.7 2019 年 11 月 26 日、国家政策・情報チームとのやりとりの中で、ダッカの英国高等弁務官事務所（BHC）の職員が、バングラデシュの出生証明書が発行済みかどうかの検証ができる ウェブページ を引用した。ただし、BHC 職員は以下のように述べている。

「2016 年、国際出入国管理執行局（当時の名称は RALON）で働いていた、バングラデシュのダッカにある英国高等弁務官事務所に拠点を置く役員は、職務遂行中に、ユニオン議会ではなく、Sylhet の市場でオンライン申請登録事務所が稼働しているのを見た。入力内容の監視には限りがあるため、非常に簡単に開いて悪用することができる。事務所には保安員の巡回もなく、また、稼働中の CCTV もまったくない。」

「この状況では、このオンラインツールを使うときには注意を払うべきであり、このリンクを介して実施されたチェックにはあまり信頼を置いてはいけないと思われる。データは個人から提供された未検証情報と入力する者の誠実さに依存している。」

[目次へ戻る](#)

2.4 結婚および離婚証明書

2.4.1 ダッカの婚姻許可局（イスラム教徒の結婚登録のための機関）は、結婚証明書

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

(nikahnama=婚姻証明書)、法的結婚証明書、および離婚証明書の例を示している。USSD の互惠規定では、キリスト教徒、ヒンドゥー教徒および仏教徒に対する結婚証明書は、教会や寺院の聖職者または結婚登録官により発行されていたと記している。同じ資料には、こうした結婚証明書の「特別印章/色/様式」についての情報も記載されている。

2.4.2 USSD の互惠規定によれば、「Talaknama[イスラム教徒のための離婚証明書]には、離婚の種類 (B 離婚—夫からの離婚、C 離婚—相互の同意による離婚、D 離婚—妻からの離婚)、離婚手続き開始日、婚姻許可局への離婚登録日についての情報を記載しなければならない。

2.4.3 状況によっては、キリスト教徒は、家庭裁判所もしくは高等裁判所で離婚することができるが、バングラデシュにはヒンドゥー教徒や仏教徒のための法的機構がなく、ヒンドゥー教徒または仏教徒の離婚が認められている国から離婚判決を得ることができる。同じ資料に、こうした離婚証明書の「特別印章/色/様式」についての情報も記載されている。

[目次へ戻る](#)

第 3 章更新：2020 年 1 月 14 日

3. 警察報告書

3.1 初期情報報告書 (FIR)

3.1.1 FIR は、「認識できる犯罪」— 令状なしに警察が人を逮捕できる犯罪、すなわち「性質として比較的重大であり、重い処罰が下される犯罪」の報告をする際の法的な根拠である。警察は、こうした犯罪の FIR 取得後に、逮捕や捜査などの直接的対応をすることができる。この種の犯罪に対処する際に、警察は、裁判所の命令を必要としない。こうした犯罪は、大抵の場合、保釈の余地もない。認識できる犯罪の例を挙げると、殺人、重大な傷害、窃盗、強奪等である。」こうした犯罪は第三者、例えば犯罪の被害者や、認識できる犯罪に気付いた警察官から届け出ることができる。FIR は直接、書面にて、または電話により、警察に届け出ることができる。FIR には告発者が署名（または拇印捺印）をし、下記のことを記載すること。

- 警察署の名称
- 告発者の氏名および住所
- 被疑者の氏名および詳細（わかっている場合）
- 事件の日時および場所
- 発生した事件の真の事実
- 事件に関与した者の氏名および説明
- 目撃者
- 事件後の関連状況
- 犯罪をなすまでの関連、経緯または兆し

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

- 情報提供者の署名もしくは拇印捺印

3.1.2 虚偽の告発を届け出たり、誤った、または誤った方向に導くような情報を警察に提供したりした者は、刑事訴追を受けることがある。

[目次へ戻る](#)

第4章更新：2020年1月14日

4. ロヒンギャ難民に関する文書

4.1.1 バングラデシュ国内のロヒンギャ難民が使用している文書に関する情報については、[「国家政策および情報覚書 ビルマ \[ミャンマー\]：ロヒンギャ」](#)を参照のこと。

4.1.2 2019年8月、国連高等難民弁務官事務所（UNHCR）のスポークスマンから、50万人を超える12歳以上のロヒンギャ難民に対し「生体認証で耐偽造性のある」識別カードをすでに発行済みとの報告があった。UNHCRの記者会見では、「UNHCRの生体認証識別管理システム（BIMS）が、家族関係などの他の重要な情報同様、各難民の一意の身元確認を確保する、指紋、虹彩スキャンなどの生体認証データを把握している」とし、カードには出生国として「ミャンマー」の表記があると述べていた。UNHCRによれば、推計90万人の難民がコックスバザールに住んでいる。カードは難民のバングラデシュ滞在を規定するもので、UNHCRは、このカードがミャンマーの市民権を示す文書ではないことを強調した。

[目次へ戻る](#)

第5章更新：2020年1月14日

5. 腐敗

5.1 概要

5.1.1 2018年5月更新のGAN Integrity社の事業用腐敗防止ポータルでは、多くの資料からの引用を掲載している。

「すべての主なランキング機関で、バングラデシュはいつも、世界で最も汚職の多い国の中に入っている[...]。腐敗は社会のあらゆる階層で広がっている[...]。刑事訴訟法、汚職防止法、刑法、資金洗浄防止法により、汚職未遂、財物強要、贈収賄、外国公務員贈収賄、資金洗浄および私利私欲のための公的資金もしくは国家機密情報の使用は有罪となる。それでも、腐敗防止法の施行状況は不適切である。便宜を図ってもらうための支払金や贈り物は違法であるが、実際にはよく行われている。

5.1.2 U4 腐敗防止ヘルプデスク（クリスティアン・ミケルセン研究所を本拠とする U4 腐敗防止情報センターと協力して、トランスペアレンシー・インターナショナルが運営している）による 2019 年 2 月付けのバングラデシュに関する要約では、多くの資料を引用して、「腐敗はほぼすべての分野の政府および一部民間組織のすべての階層で見られる」とし

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

ている。この要約によれば以下の通り。

「バングラデシュは、トランスペアレンシー・インターナショナルの 2017 年の腐敗認識指数（CPI）では、腐敗認識が最高の場合を 0、最低を 100 とするスコアで 28/100 となり、180 国中 143 位である（トランスペアレンシー・インターナショナル 2018）。バングラデシュは、世界銀行による世界ガバナンス評価（2017）でも、汚職を含めた多数の政府関連問題で評価が低い…」

「2017 年 TRACE 贈収賄リスクマトリクスでは、バングラデシュはハイリスクカテゴリーに分類されており、調査対象の 200 ヶ国の中で 185 位となっている。この高い贈収賄リスクは、トランスペアレンシー・インターナショナル・バングラデシュ（TIB）が実施した 2017 年全国世帯調査で確認されており、ここでは、調査を受けた世帯の 66.5%が、1 種類の、もしくはその他の選択したサービス提供部門（電気、健康および教育など）で、または法の執行に接したときに、腐敗の犠牲者となっていたことが示されている。

「腐敗と詐欺への対策」も参照のこと。

[目次へ戻る](#)

5.2 偽造文書の発生率と調達

5.2.1 カナダ移民難民委員会（IRB）の調査局は、2010 年 9 月付けの返信において、多様な資料を引用しながら以下の通り述べた。

「調査局との 2010 年 9 月 7 日の通信において、在バングラデシュカナダ高等弁務官事務所の職員は、「[バングラデシュでは] パスポート、出生証明書、銀行明細書、税務文書、事業文書、学校文書、結婚証明書など、偽造文書が非常に多く発生している。頼めば、作成できてしまう。」と述べている。カナダ職員はさらに、「誰にとってもこうした文書を手に入れるのはまったく難しくない。品質は支払った価格次第だ」…としている。」

「バングラデシュでは、虚偽の身分証明書を求める者は、一般に仲介サービス、すなわちダラルを利用する。話を聞いたダラルによれば、効率的なシステムが開発されており、申請者は追加料金を支払うことで、特にパスポートを取得する際の、公式の手順を踏むというわずらわしさを避けられる。ダラルが該当する発行担当の役人に支払いをし、その役人が今度は警察の特別な部門に支払いをして、必要な検証をしてもらう。この検証は、提供される情報が正確であるかどうかに関わらず、発行されるのが一般的である…」

「在バングラデシュカナダ高等弁務官事務所の職員はさらに、「一次出典文書は、バングラデシュのパスポートでは必要とすらされない。というのは、出生は一般に誕生時点で記録されないからである。自分の名前と誕生日に関して自ら宣言するだけで、その名前と誕生日のパスポートが取得できる…」。

5.2.2 IRB が 2015 年 8 月に発表した、2011 年から 2015 年を対象とした偽造文書に関する

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

るその後の返信では、偽造文書ならびに虚偽の文書を提供したと思われる無節操な仲介者が継続的に利用されていることについて記載している。

5.2.3 2017年5月、英国内務省高官が実態調査代表团（FFM）をバングラデシュに送り、多くの代弁者と面談した。2017年9月に発表されたその後の報告書では以下のように述べている。

「BHC [ダッカにある英国高等弁務官事務所] では、偽造され、不正に取得された文書は簡単に手に入るとのことである。TI [トランスペアレンシー・インターナショナル] は、特に土地問題に関連して偽造文書の重大な事件があったが、これは一般的な問題ではなかったとしている。[...] ある（匿名の）情報源によれば、副署の手順があり、すべての文書をデータベースと突き合わせて確認できることから、偽造もしくは不正に取得された警察や裁判所の文書を手に入れるのは容易ではないとしている。」

5.2.4 Lifos 報告書の英文要約版では以下のように述べている。

「バングラデシュは世界で最も腐敗している国の一つとなっている。腐敗は広範囲にわたり、社会のあらゆる階層で発生する。腐敗が広がっていることにより、偽造文書の大規模な作成と取引が可能になる。中央の市民登録所がないため、情報を他の（地方の）登録所との間で突き合わせないことが多いため、虚偽の情報で真正の文書を手に入りやすくなっている。」

「バングラデシュからの文書の翻訳は、認可を受けた翻訳者に賄賂を贈って翻訳文書内の情報を変更したり省略したりすることが可能なため、必ずしも信頼できない。」

5.2.5 DFAT は次のように報告している。

「生体認証データ収集の利用が増えており、疑いのある身分証明文書を確認する当局の能力が高まっているため、偽造の機会は限定されてきた。しかし DFAT は、偽造文書や不正に入手した真正文書の利用はなおも広く行われていると評価している。民間文書が一般に、地方の発行事務所によりネットワークシステムのない紙ベースのファイルに保管されていることから、このリスクは悪化する。」

「バングラデシュ人にとって、代理人もしくは仲介者を通して書類を取得することは普通のことである。この者が要請をした人物に代わって文書の申請をするが、この過程が詐欺の対象となることがある。従って、文書を求める人物が、自分の文書が偽造であることを知らない可能性がある。一部の情報源によれば、こうした代理人を使わずに文書を取得することは不可能であると報告されており、仲介者の利用に関わるリスクは避けられないと思われる。」

[目次へ戻る](#)

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

5.3 偽造文書の種類

5.3.1 DFAT 報告書の記載では、「政府が 2010 年に機械で読み取れるパスポートを導入し、パスポートデータベースを設置したが、DFAT は、パスポートに関して偽造の発生率がなおも高いと理解している。」となっている。

5.3.2 同じ報告書ではこうも記載している。

「多くのバングラデシュ人が旅行したり、職を得るために外国と行き来したりしていることから、パスポート偽造は特にありふれた種類の偽造である。DFAT は、賄賂を贈るなど、不正な方法で、ロヒンギャが真正のバングラデシュのパスポートを取得していることを認識している。このようなパスポートが期限を迎えると、更新できず、国外にいる無国籍の人々が帰国できない、または帰国したとたんバングラデシュ当局に逮捕または拘留されるという、目を引く事例が生じる。バングラデシュ人の中には、パスポートの真正性の確認が困難になるインド経由で、偽造パスポートを使って出国しようとした者もいるとのことである。こうした旅行者は、入国又は出国時の国境でインド移民局に看破されるだろう。国境のバングラデシュ出入国管理官は、入国または出国の際に偽造文書を識別する技能や専門知識を欠いていることがある。腐敗なしで真正のパスポートを取得しようとすることは、文書取得の各段階で賄賂が必要であるため、難しい。たとえば、パスポート取得の際には警察証明書が必要で、ここで賄賂が必要になるのである。偽造文書は、不正に取得した真正の文書よりも容易に看破することができる。」

5.3.3 2019 年 9 月、ロヒンギャ難民がロヒンギャおよびバングラデシュのブローカー経由で、偽造したバングラデシュのパスポートと ID カードを入手しているという報告があった。

5.3.4 バングラデシュにいるロヒンギャ難民およびロヒンギャを装っているバングラデシュ人が使用した偽造文書の詳細情報については「国家政策および情報覚書 ビルマ [ミャンマー]：ロヒンギャ」を参照のこと。

5.3.5 2017 年のサービス部門の腐敗についての全国世帯調査で、トランスペアレンシー・インターナショナル (TI)・バングラデシュは、出入国管理・パスポート局は、二番目に腐敗のひどい公共部門とみなされているという報告があった。ほとんどの腐敗の証拠は、地域の事務所からパスポートサービスを受けるために賄賂を払うという形であった。また、パスポートの検証のため、警察職員に賄賂を払っていることも報告された。

5.3.6 DFAT の報告によれば以下の通りである。

「生体認証情報を埋め込んだプラスチックチップが入っているため、偽造 NIC を作るのは難しくなった。真正の、ただし不正に入手された文書は、なんらかの正しい生体認証情報

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

を含んでいる。当局は、全国データベースで NIC を確認することもでき、これにより、偽造防止になるかもしれない。」

「政党文書は、他の文書のようなセキュリティ機能を備えていないため、偽造の対象になるかもしれない。政治参加の性質は後援を基本としており、これは、個人の政治関係进行分析の方が政党のメンバーであることについての判断に有用であることを意味する。こうした文書を不正に入手することは、後援ネットワークを通じて容易になるかもしれず、ここでは、保有者は政党のメンバーである可能性が高い。」

「裁判所および警察の文書は、たとえば記録から軽微な犯罪を削除してもらうために警察に賄賂を贈ることにより、不正に入手することができる。裁判所でも警察でも腐敗は広がっており、この過程の一環として真正の文書が不正に取得される可能性がある。現地メディアは、偽の裁判所文書が個人の利益のために作られる事例をたびたび報告している。裁判所の制度と警察の制度は非常に官僚的である上、紙ベースであることが多く、そのために、偽造文書をみつける能力が制限されることがある。身分や国籍に関する文書ならびに裁判所文書などの公的書類については、公式のルートを通じての検証が困難であることがよくある。これは、一部の役人が便宜を図る際の支払金を期待していること、適切な記録および能力が実際に欠落していることなどの多様な理由による。DFAT は、偽造裁判書類、または不正に入手された裁判書類がバングラデシュでは比較的ありふれていると評価している。

5.3.7 内務省 FFM 報告書によれば、新聞に逮捕状や出頭命令を掲載するなどして主流派のメディアでニュースをねつ造するのは困難であるとのコメントが複数の資料にあるという。オンラインで発表する方が容易であろう。

[目次へ戻る](#)

5.4 腐敗および偽造に対する対策

5.4.1 スマート ID カードの導入に関して、Advoc は 2016 年 10 月に次のように述べている。「政府は、このカードは偽造の抑制を意図していると説明した。以前、投票に用いられたラミネートカードは比較的コピーおよび偽造が容易であった。選挙管理委員会によれば、機械読み取り可能なカードには、偽造を防止するために考案された「25 の特徴」があるという。2014 年には、法の施行により、詐欺もしくはその他の意図のために制作された 5 万通を超える偽 ID のセットが国内で発見された。選挙管理委員会事務局長の Sirazul Islam も、「スマート NID カードの偽造はほぼ不可能となるだろう」と述べた。

5.4.2 内務省 FFM 報告書に引用されている通り、トランスペアレンシー・インターナショナルは、例えば 2004 年腐敗防止法および 2012 年国民統合戦略などのしっかりした法があるにもかかわらず、腐敗は「風土病」だと述べている。

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

5.4.3 U4 腐敗防止ヘルプデスクは、バングラデシュに関する要約の中でこう述べている。
「多数の研究により、合理的に健全な法の枠組みが存在しているにも関わらず、法の実施と施行は大いに不適切であり、法を遵守しない文化が一般に広まっていると結論付けられた…」

[目次へ戻る](#)

当翻訳は、出入国在留管理庁による仮訳であり、正確には原文に当たってください。また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

別紙 A

英国高等弁務官事務所との通信（2019 年 11 月 26 日）

United Nations Road Baridhara, Dhaka

英国高等弁務官事務所

Tel: (880)(2)55668700

2019 年 11 月 26 日

関係各位

バングラデシュの出生証明書が発行済みかどうかは、ウェブページにアクセスして検証することができる：<http://br.lgd.gov.bd/>

2016 年、国際出入国管理執行局（当時の名称は RALON）で働いていた、バングラデシュのダッカにある英国高等弁務官事務所に拠点を置く役員は、職務遂行中に、ユニオン議会ではなく、Sylhet の市場でオンライン申請登録事務所が稼働しているのを見た。入力内容の監視には限りがあるため、非常に簡単に開いて悪用することができる。事務所には保安員の巡回もなく、また、稼働中の CCTV もまったくない。

この状況では、このオンラインツールを使うときには注意を払うべきであり、このリンクを介して実施されたチェックにはあまり信頼を置いてはいけないと思われる。データは個人から提供された未検証情報と入力する者の誠実さに依存している。

バングラデシュにおける腐敗は、広い範囲で報告されている。2004 年に腐敗防止委員会が設立されたが、腐敗防止の監視者であるトランスペアレンシー・インターナショナルによれば、発表された 2018 年腐敗認知指数（CPI）で、バングラデシュは 149/180 である。

[編集]

移民連絡事務所および移住局長

[目次へ戻る](#)